

行田まちあるきその2 TEKUTEKU 活動報告

日 時 ●2009年2月14日(土)10時30分～16時30分

企画概要● 昨年6月に「足袋蔵のまち行田の中心市街地活性化を考える」をテーマに実施しました行田まち歩き企画の第2弾です。

今回の企画は、前回参加の皆様からの提言なども含め地元関係者の意見を集約するなどの勉強会を行っているグループ「行田中心市街地まちづくり勉強会(県、市、市商工会議所、NPOぎょうだ足袋蔵ネットワーク、ものつくり大学が参加)」等との共催です。足袋蔵の新たな活用事例(足袋蔵まちづくり情報ミュージアム2月14日グランドオープン)や前回のコースになかった忍城跡の水城公園、さきたま古墳公園なども見て歩き、最後に「まちづくり勉強会グループ」との意見交換をしました。

コース●栗代蔵→郷土博物館→昼食(忠次郎蔵その他行田B級グルメ、フライ等のお店)→水城公園→さきたま古墳公園→教育文化センターみらい第1会議室(意見交換会)

参加者 ●青山恭之、石川修、市川多喜法、市川毅、大竹亮、大森享、小澤隆、梶川義実、栗原徹、呉祐一郎、坂田貴志、佐藤晶子、須藤充子、中村博行、並木孝之、西藤大真、橋本めぐみ、蓮池公子、長谷川万里子、平野隆、古里実、峯岸美智子、毛須知之、森川肇、山中洋子、米村ふみ子、若林祥文、ほか

・コーディネーター:黒澤学、遠井文大

・案内:朽木宏、中島洋一(NPO 足袋蔵ネットワーク)

【参加者による評価】

(評価点の計算:とても良い A=5点、良い B=3点、普通 C=1点、良くない D=1点とした平均値)

(1)足袋蔵まちづくりミュージアム(栗代蔵) AAAAAAABBBBBB --【4.1】



A :立派な蔵をこのような形で美しく保存し、行田のまちづくりの拠点として活用することは非常に素晴らしい。関係者の努力に心から敬意を表したい。

A : 地元の所有者の協力と、まちづくりに取り組む人達の努力で、地域の歴史を伝える建物が活用できることになった点が素晴らしいと思う。立地が目につきにくいので、隣の銀行の協力を得て何とかバスが走る商店街から入れるようになると思う。

A :改装で苦労された話を聞いたので、建物がとても親しみがわいた。まちの拠点となり、市民が集まる場所にな

A :蔵そのものも良いですが、何よりも保存活用していこうという方々の熱意、やる気がすばらしいです。

るといい。

A : 眠っていた施設がよみがえった感じがする。ここを起点に行田の足袋と蔵を巡ることが出来ると良い。

A : 街の拠点となるよう期待しています。

A : 使われてなかった足袋蔵を地元NPOがよみがえらせている点が素晴らしい。さらに行政や商工会、他のNPOがサポートして欲しい。

A : 入り口のスロープやテラスも木製でいい雰囲気でした。

B : 外側に看板があると分かりやすい。

B : 街なかに、しかも駅前の目立つ場所にあり、その足袋蔵を保存され活かされている事が良い。

B : NPOからの説明により、蔵の歴史等を理解できたが、通常時に理解できるか疑問である。

B : 存在をいかにPRするかが重要、リピーターを増やす仕掛けづくりが望まれる。

B : まちの中心部にある蔵なので、ここからまちの情報発信ができると面白くなると思う。

B : ミュージアムという名称がやや誤解を招くのでは？

一 : 古い木造の蔵が、とっておしゃれなミュージアムになっていました～。明治時代(?)のミシンの足を再利用したテーブルや、棚の下の装飾的な方杖、マツの床板やスギの壁板など細部まで素敵でした。トイレもすごく落ち着いて居心地がいい！家のトイレもこんなかんじにしたいって、惚れ込みました。

一 : (欲をいえば県産木材を使ってくださっていないのがちと残念。次に手を入れられる時は、ぜひお声かけください。)

(2)忍城跡・郷土博物館 AAAABBBBBBBBBBC【3. 4】

A : 御三階櫓の外観も素敵！展示品も充実していて、説明をお聞きして、とてもおもしろかったです。お濠がもっと



きれいになるといいな。

A : 城址はCだが、博物館は良かった。通常の縄文時代～の展示ではなく、忍と行田を前面に出しているところが特に良かった。

A : 見どころたくさんでおもしろい(当日は見学時間が少なすぎた)、時間をかけてゆっくり見たい。

A : 展示の内容が充実している。

B : 濠が残り、城跡の雰囲気が感じられる。そこに郷土博物館があり、展示内容も古代からの行田の歴史や足袋産業のことなど、よくわかる内容だった。

B : 行田＝忍の考えが踏襲され、また郷土博物館の建物の時代背景とマッチしており、分かりやすい。もう少し関東武士団の勢力分布など時代背景が入ると深く知る事が出来る。

B : 博物館で売っていた「忍城と現在のまちの重ね地図」は行田のまちを読み解くのに大変役に立ちます。忍城を中心にした展示をさらに進めて欲しい。

B : 博物館は非常に魅力的な城があったことなど歴史を伝える点では意味があるが、もっと城跡の雰囲気(外)に対して再現して欲しいと思う。

B : 博物館をあれほど興味を持って見学することは滅多にありません。ご説明いただいた方の一生懸命さが伝わってきました。

B : 学芸員からの説明により、展示物の内容をより深く理解できた。

B : 「のぼうの城」がベストセラーになり、城攻めのコーナーを充実するとより楽しい。

B : 展示が頑張っています。「のぼうの城」関連の解説や展示があってもよいのでは。

B : 郷土博物館の展示はなかなか面白かった。こういう情報をまちの中で発信できるようになるといい。

B : 博物館の上部から、行田の市街地を見ることができてよかった。休日であったがあまり人がいなかったのが寂しい所もあった。

C : 解説が興味深かった。

(3)行田のB級グルメ(フライ、ゼリーフライ、そば等) AAAAAAABBBBBBBB【4. 0】



A

:美味しかったです。行田はお金持ちの街かな〜って思いこんでいたのですが、貧しい女工さん達がたくさんいて、おやつに食べていたとお聞きして、そうなんだ〜と思いました。どれもみなとても口にありました。

A : おいしい！ 本格派で絶品のおそば、何ともユニークなフライ、意味不明のゼリーフライ！ B級グルメこそ、地元の人も外来者も楽しめる街の醍醐味だと思う。

A : 美術館などの高尚な芸術だけが文化ではなく、こういう庶民の食文化を活かすほうが、まちの魅力に繋がる。

A : ここでしか食べられないものは、アイデンティティになる。鐘突堂に行ったが、とてもよかった。

A : フライは十分ボリュームがあっておいしい。ゼリーフライはヘルシー。忠次郎蔵の蕎麦もコシがあってうまい。もっと自信をもって宣伝してください。

A : フライとゼリーフライは安くてボリュームあり大満足、全国に情報発信したい。

A : 味、価格とも良かった。懐かしさを実感できた。

B : フライ、ゼリーフライはここにしかありません。商店街に残る地元の菓子屋とともに、街の食の魅力として伝えていって欲しいものです。

B : かねつき堂で食べたゼリーフライがとてもボリュームがあっておいしかった。おやつよりご飯の代わりになり

そうだ。

B : むかし懐かしい、素朴な味。若者を対象とした進化型があると面白い。

B : ヘルシーで添加物が入っていない安全で安い食べ物で非常に良い。しかし、お好み焼きやたこ焼きも食べた
い。

B : 個人的にフライ、セリーフライ等のB級グルメは好物です。欲を言えばまた食べに来たいという気をおこさせるもう一
ひねりがほしいところですね。(餃子、ラーメンと違い、食材自体が平凡なのでなかなか難しいですが)

B : まさにB級!

B : そばを食べたことがなかったので、初めて名物と知った。

(4)水城公園 ABBBBBBBBBBCCCC【2. 6】



A : きれいでのびのびとした公園。水辺に柵がなくて、さざ波が身近に感じられて良かった。ほていあおいや桜の
時期にまたぜひ行きたいです。

B : 市街地に隣接して広い公園があるとは恵まれた地域だと思います。できればこの水面が何らかの形で郷土
博物館のあたりまで続き、広大な池に浮かんでいた忍城の片りんが感じられると素晴らしいと思いますが…。

B : まちなかの公園は魅力がある。

B : 水辺に柵がないのが良いです。街なかの広大な芝生広場も良いですね。

B : 水と緑の空間は公園としては悪くないが、城跡としてのイメージがもう少しあったほうがいい。

B : 車道が近くて、落ち着きにかける点がやや減点。

B : 適度に広く、ゆったりしていて大人から子供まで、集える場である。

B : かつての豊かな水景を思い起こさせる広々とした風景だった。

B : 空間としてはきれいにできている。周りで休む場所や賑わいを演出できる店や空間があると楽しい。

B : 街なかに水辺が有る事は非常に良い。都市のオープンスペースと市民活用としても良い。しかし、何故中国
江南風なのか分からない。

B : 公園を利用している市民が、余暇を楽しんでいるように見えた。

C : 風が強かったが、人が比較的多くいた印象を受けた。憩いの場所として親しまれていると感じた。

C : 柵のない広々として池が良い。忍城との関係がもっと判るような案内が欲しい。

C : 転落防止の柵がないのはよい。

C : 説明を受ければ、へーだが、普通の公園。

(5)さきたま古墳公園 AA AAAABBBBBBBBCCC【3. 3】



AA :すばらしい。県内でトップの史跡だと思う。

A :多数の巨大古墳がこのように集中して存在していることは、歴史文化的価値のみならず、環境空間的価値もある。もっと多くの人に訪れてもらいたいもの。

A :歩いていると向こうから古代の人が来るような不思議な感じがしました。1600年の時ってもしかしたら以外と短い時間なのかな～って思いました。本物の迫力を感じました。

A :様々な形の古墳があり、古墳の中に入ったり、古墳の上まで登れるものもあるので、なかなか楽しめる。

A :ボランティアガイドの説明があり、非常に有意義であった、(スピーカーが参加者の方を向いていないため、聞き取りにくい時があったのが残念)

B :関東にこんなに古墳があるとびっくり。また、忍城水攻めのために築いた土手が見られる点も興味が湧きます。JR行田駅、秩父鉄道行田市駅と行田のまちと古墳公園を結ぶレンタサイクルシステムを作ってはどうかしよう。

B :古墳の頂上から行田の市街地が一望できたが、案内板があると、どういうまちになっているかより分かりやすくなると思う。

B :単独でなく群で古墳がある事は素晴らしい。将軍塚古墳の展示はリアリティーがあり、分かりやすい。ボランティアガイドがいないと分からないのが残念。

B :ボランティアの方の説明と古墳に登ることが出来る点は、大きさを実感でき良かった。埋葬者等の説明が進むとよいと思う。

B :市街地と意外と近かった。

B :丸墓山から石田三成の気持ちになって忍城下を眺められたのが良かった。旧市街地から歩く道が単調でつらい。バス便が欲しい。

B :古墳そのものの魅力は高いが、まち歩きのルートとしては、中心市街地から遠い。

C :歴史的価値としては異論の余地はありません。が、FAX送信したアンケートにも書いたのですが、蔵のまちづくりとは切り離して考えたほうがやりやすいと思います。(双方にとって)

C :遠方や周辺から、公園内の古墳が見えると認知度が上がる。

C :解説がていねいでわかりやすかった。

(6)旧市街地の足袋蔵 AAAAAAABBBBBBCC【3. 7】



A :道を歩くと次々に蔵が目に入り、たくさん蔵が点在していることに驚いた。クチキ事務所のようにうまく使われているケースもあるが、多くはその価値が発揮されていないのではないかと。是非とも蔵の今日的な活用を進めてもらいたい。

A : 忠次郎蔵、足袋蔵博物館、クチキ設計事務所など、活用されている足袋蔵は魅力がある。

A : 今回はゆっくり見学することはできませんでしたが、ミュージアムや忠次郎蔵のように、ひとつひとつが輝いていけば、素敵なまちになると思います。

A : 今回じっくり見られなくて残念、ボランティアガイドを養成し、定期的に街歩きイベントを開催しては？

A : 初めて歩いたところがあり、よかった。街角の案内図をつくとよい。街角にある石碑を活かすと面白いと思う。

A : 北西のみ防御をかたくするなど、地域色があって貴重。

A : あちこちに素敵な蔵があって、中も見てみたいって思いました。

B : 古い足袋蔵は外見上あまり見えないが、磨けば良さがでると思う。建物は使われてこそ輝いて見えると思う。

B : 点在する足袋蔵が多くある事が行田の特長的な顔の一つだと思った。しかし、足袋蔵一つ一つが目立たない状況。白漆喰で塗り直すなど、綺麗に保存する事はもっと必要だと思う。

B : 今回は外観だけであったが、中を見てもっと良いとだそう。

B : 今回はじっくり見る時間がなかったが、各々の蔵には個性があるので、比べてみると面白い。

B : 老朽化の激しいものもあり、焦るところですが、一つずつ着実に、ですね。そうにしても、足袋蔵ネットワークさんだけではカバーしきれないのではないのでしょうか。

C : 趣きがあり良い。

C : 沢山の蔵があるが、寄り込むことができない。

(7)まち全体の印象 ABBBBBBBBBBBCCD(2. 8)

A : 歴史と緑のバランスの良い印象。

B : 古代(古代蓮)から古墳5, 6世紀)、忍城(17世紀)、足袋蔵(20世紀)、ゼリフライ(現代)までの資産があるまち。

B : 2回目の訪問であるが、いろいろな資源があると思う。

B : まちとしては静かな住みやすい場所、という印象でした。

B :初めて訪れたが、旧市街が小さくまとまったいい街だと好感が持てた。蔵の風景や伝統商家などに城下町の風情が残され、それが市民活動によって再生されつつあるように感じた。今後の行田足袋蔵ネットワークの活動に期待したい。

B :忍城下の遺構、足袋蔵、B旧グルメ等の資源をまだまだ活かしきっていないように思う。

B :魅力あるスポットは多いが点在している。連携が課題。

B :高層建築がなくて、のんびりした感じ。古い建物がポツポツ残っていて、嬉しい。あちこちに、銅の人形や、石碑があって楽しい街。のんびりとしては、街歩きツアーで1~2カ所、お酒を味見できる酒蔵orカフェバーがあると嬉しいです。

B :比較的道路にゆとりがあり、建物の圧迫感もなく、空が広いですね。蔵をきっかけとして街の修景が進むといいですね。

B :低層の市街地はよい。いくつかの敷地が空き地化していたのが、気になった。

B :人通りが少ないのは、どうしようもないか…。

C :やはり活気がない。夕暮れでシャッターをしましてしまうのは商売意欲が低いからか。安全面でも店の明かりを外に見せる事は必要だが、商店街として連携が取れていないからか。

C :忍城やさきたま古墳群などの名所はあるのだが、それらが必ずしもまちづくりと結びついていないのが残念。

C :土曜日にもかかわらず、まちなかにほとんど人が歩いていない印象を受けた。

D :まちに人がいない。まちなかで、いかに人を歩かせるかが課題。

(8)行田のまちで特に良かった(好きな)場所をあげ、理由、感想を記入(いくつでも)。

☆忠次郎蔵:おそばがおいしかった。外観も内部も魅力的だった。サービスも良かった。

☆忠次郎蔵 : 歴史的な建物を活かし、地域固有のB級グルメが味わえ、しかも、その活動を通じて新たなNPOができたことは、非常に素晴らしいと思う。

☆足袋とくらしの博物館:今回は中が見られませんでした。単なる博物館ではなく、足袋を作る職人の技なども含めて残そうとしているのがいい。

☆足袋とくらしの博物館:行田の誇る足袋産業を紹介する貴重な存在。中に入りたかった。

☆前回の足袋の博物館:足袋の歴史が解り、良かったです。

☆栗代蔵:美しく保存改修し、うまく使っている。ご当主の方のご挨拶の言葉にも感動した。

☆忍城城下の道と足袋蔵:江戸時代からの道をたどりながら、近代産業遺産の足袋蔵などに会えること。足袋蔵の活用事例がもっと増えるとさらに魅力的になると思う。

☆クチキ事務所:蔵がいくつもある屋敷をうまく活用している。敷地内の茶房も魅力的。



☆郷土資料館：「水攻め」の言葉は知っていたが、具体的内容までは知らなかった。

☆さきたま古墳公園：すばらしい。休日だけでも、市内とのシャトルバスのようなものが運行できないか？

☆武蔵水路：大東京の都市機能を支える用水がとうとうと流れる様は圧倒的迫力を感じた。

○今回歩いた所みんな良かったです。古代、中世～近世、近代と、3度の遺跡に恵まれた街。重層構造の街。

○1日で古代から現代の歴史を巡ることができる。行田特有の魅力だと思います。

○今、歴史(部将)ブームであり、「水攻め」・古墳・蔵づくり・足袋などポイントを絞り、時期をずらしてキャンペーンを行えば、リピーターも増えるのではないかな？

○やはり街なかの蔵ですね。上記(7)でも書きましたが、蔵

を起点として周辺の景観整備が進むといいですね。市民が主体となって。それにはある程度のアウトラインが必要で、それは行政と市民とで一緒に考えるものだと思います。

○所々で見いだせる足袋蔵や、昔のまま残る町割、曲がった道路。行田がどんな歴史を経てきたまちなのかを示してくれる貴重な財産だと思います。ただし、説明をしてもらわないと、なかなかわかりにくいのが現状です。

○まちなかは道路も広く、住宅地は静かで良好な環境が整っていると思う。

○また昔の町割りがそのまま残っているため、どこか懐かしさを感じる。

○水城公園周辺は、市街地の中にあり、歴史性をもった豊かな空間を形成している。周辺の足袋蔵やゼリフライを楽しみなが散策したい街である。

○行田のフライを焼いているお婆ちゃんの姿に感銘を受けた。お婆ちゃんの手料理が店全体の雰囲気をやかにしてくれる。やはり残すべき文化だと思うが、後十年もすればこのお婆ちゃんはこの世にいないだろうと思うと、非常に残念でならない。

○長野県小布施町では住民が積極的にまちの景観整備(黄色味を帯びた土壁風の外壁、瓦屋根…「小布施風」というそうです)に取り組んでいます。

○今回は移動が多く、とどまって味わった場所が少なかったのでコメントはありません。

(9)その他、今回の企画に対する意見、感想等

○事前の準備や当日の案内など大変おつかれさまでした。おかげさまで、前回とあわせて行田のことを随分知ることができました。やはり歴史があるまちは他とは違う興味深いところがたくさんあります。まちあるきツアーが、市や地元の方々、さらにJRとか秩父鉄道、さらに群馬、栃木など隣県の歴史ある都市などと連携しながら、できるだけたくさんの機会に設けられ、行田のまちが多くの人の知るところになるいいと思います。頑張ってください。追記:まちあるき 終了後の意見交換会で、どなたかからか、まちづくりの教育の話題が出ていたように記憶しています。国交省では、次のような資料を出しています。ご参考まで。(景観まちづくり教育)

○とても楽しかったです。行田の街は足袋蔵や商家が残り、とてもすてきな味わいがありました。そこで、朽木さんたちの活動が一步步進んで花開こうとしているように感じられました。行政もようやく中心街に注目し始めたようですね。当日のご案内をありがとうございました。でも、郊外ルートは遠かった。まちなかをもっと歩きたかったです。今後のまちづくりがうまくいきますようにお祈りします。



○外から町歩きに参加された方、地元の方、行政、商工会などがもっと意見交換できる時間をとれたら良かったと思う。スターダストレビューのファンにとって行田のまちが聖地であることを知ったのは収穫でした。まち歩き企画スタッフのみなさんありがとうございました。5月のスタンプラリーも楽しみにしています。

○私のブログに載せたいと思います。

○行田は、高崎線に駅のある他の都市と同じで、特段の関心は無かったが、訪問することで歴史と資源が豊富にあることが解った。

○私は2回目だったので、さきたま古墳群まで見られたのは非常に良かった。ただ、初めての人のにとっては、古墳群まで含めると距離が長すぎるので、忍城と足袋蔵だけにして、もっと密度の濃いまち歩きをしたほうが良かったと思う。さきたま古墳公園まで歩く時間が、やはり無駄だったように感じる。

○中心部と古墳群の間のウォーキングは疲れた。(だらだらと歩いたため、健康づくりにもならなかったと思う)両者を結ぶシャトルバス(ワンコインバス等)を運行してはいかがでしょうか？

○古墳群はそれで貴重であるが、中心部のまちづくりとの関係はそれほどないと思う。

○ひたすら歩くより、資料館をもっとじっくり見たかったです。

○地元の人が参加できるように、まち歩きの企画は短時間(半日)ぐらいにする。おみやげがないとなかなか参加しないのでは。

○埼玉周辺でないと参加しづらいです。

○行田について、とりあえず歩いて、街の雰囲気を知る事が出来ました。

○意見交換の時間がもう少しあれば良かったと考えます。

○地元の人とお話できて楽しかったです。

○行田の博物館は大きな自治体のより展示物のレベル高いです。がマニアック。

○今回は、忍を知ることが出来た。現在との重ね地図は理解の助けになる。

○ミュージアムのオープンセレモニーに着物の方々がいらして、さすが行田！って思いました。ありがとうございました。

○博物館の方や観光ボランティアの方からたくさん説明をしていただき、楽しかったです。

○ご案内いただいた皆様に感謝いたします。ご苦労様でした。

コーディネーター 黒澤学(行田市役所)さんから

○先日会議に出席した際に、千葉県内のある市の職員の方に、どこから来たのかと問われて、行田からと答えると、「行田？あのゼリーフライのまちですね」と言われました。そんな出来事があったので関東圏ではある程度行田の名前は知られていると思っていましたが、今回初めて行田の名前を聞いたという方がいらして正直少しショックを受けました。

今まだ外部に向けた情報発信はまだまだ発展途上で、十分ではありませんが、それだけ進展する余地が残されているものと思います。また、地域資源を活かし、地域の生活に根ざした振興策が求められている中で、行田は十分その要素を持ち合わせていると思います。

私たちの勉強会では、これまで議論を重ねてきて、これからどうやって実行していくのかという段階になっています。この1年で作り上げてきた勉強会の連携をもって、実

行から実現へ向けて行動していきます。

今回、実際に歩いてみてさきたま古墳まで歩くのは大変だということが良くわかりましたので、この間のアクセスをどうすべきかという視点から改めて考えることができました。これからたくさんの壁を乗り越えながら、前進を続けていきたいと思えます。どうもありがとうございました。